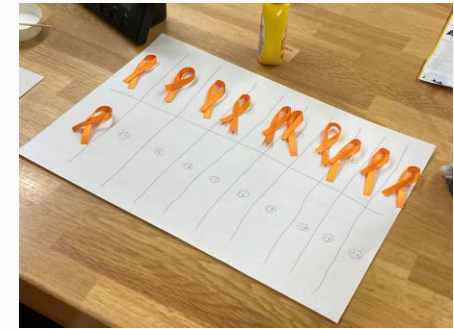


1 子育て支援課

期間:9月12日、13日(2日間) 人数:2名
実習内容:オレンジリボンの作成作業



実習者の声

- ・ 効率の良い作業について自分で考え、不足する物品を用意してほしいと指導者に伝えることができた。今回の実習のように、今後も効率性をあげるための工夫を大事にしていきたい。
- ・ 報告、連絡、相談が苦手と感じていたが、トラブルが発生した時に、落ち着いてきちんと連絡をすることができた。

支援員の声

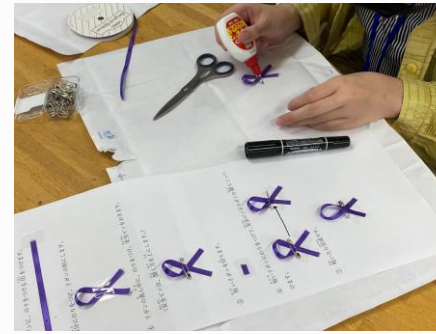
- ・ 用意された物だけではなく、作業に足りない物を自分で用意するなど、本人の良さがこの実習で再認識できた。
- ・ 緊張し、不安な様子もあったが、いつもと違うスケジュールの中で初めての活動に挑戦できており、良い経験となった。

受入課の声

- ・ 作業内容を把握し、より効率よく作業する方法を考え、きれいに仕上げるためにご自身で工夫したり、必要な物の準備を依頼するなど、仕事に真剣に取り組んでもらえた。
- ・ 作成していただいたリボンは、児童虐待防止の啓発イベントで使用させてもらう。

2 市民活動課

期間:9月13日、17日(2日間) 人数:3名
実習内容:パープルリボンの作成作業



実習者の声

- ・ 1日目は細かい作業に手間取ったが、2日目は自分なりに作りやすい方法を見つけることができた。
- ・ 仕事内容などについては担当職員に聞くことができたが、実習生同士のコミュニケーションをもっととれるとよかった。

支援員の声

- ・ 今回の実習を通して、就労に向けた力を持っていることを再確認できた。
- ・ 時間にルーズになるなど、失敗したこともあったので、同じ失敗を繰り返さないようにフォローしていきたい。
- ・ 事業所とは違う行動が求められる場面でも、自分からしっかり動くことができていた。

受入課の声

- ・ 丁寧で手早い仕事ぶりで、たくさんリボンを作ってもらえて助かった。
- ・ もっと丁寧な言葉遣いやはっきりとした返事ができるとなお良いと思った。
- ・ 作成していただいたリボンは、DV防止の啓発イベントで使用させてもらう。

3 商業労働課

期間:9月13日、17日(2日間) 人数:2名
実習内容:雇用実態の封入作業



実習者の声

- ・ 打合せなど複数の人の前では話すことができなかったが、作業中のコミュニケーションはとることができた。
- ・ 書類の破れなどを見つけた時に、積極的に担当職員に確認を行うことができた。
- ・ 楽しく作業を行うことができたので、これからの実習や就労を決める際に活かしていきたい。

支援員の声

- ・ 緊張はあったと思うが、安心して実習を行えているようにみえた。
- ・ 集中力の高さや仕事の正確さは本人の強みだと改めて感じる事ができた。
- ・ 今回の実習で立てた「困ったときに自分から相談する」という目標を達成できたが、自信のなさを感じるので、今後について本人と話し合っていきたい。

受入課の声

- ・ 1日目はひとつずつ順を追って作業を進めてもらい、2日目は自分の効率を考えて作業を進めてもらった。手が止まることなくスムーズに作業を行えていたので、もっと複雑な作業もできたと感じた。
- ・ 集中力を保ち、丁寧に作業を行ってもらえた。

4 障害福祉課

期間:9月18日、19日(2日間) 人数:2名
実習内容:スポーツ大会記念品ラッピング



実習者の声

- ・状況に応じて報告、連絡、相談を行うことができた。
- ・自分の仕事が終わった後に、一緒に作業を行っている実習生に手伝えることはないか確認することができた。
- ・今後も様々な実習に取り組み、自分の得意や不得意を知っていききたい。

支援員の声

- ・先のことを考えて作業を行う、提案するなど、仕事の能力は想像以上だった。
- ・本人の目指すレベルが高く、落ち込む部分もあったが、本人の目指すレベルだけではなく、会社の求めるレベルがあることを知るのも大事だと伝えていきたい。
- ・これから様々なことにチャレンジする中で向上できる能力がまだまだあると感じた。

受入課の声

- ・進んで分からないことを相談にきてくれたり、指示していないところまで気を配って提案をしてくれた。
- ・自らが作業しやすいように工程を考えながら、工夫して作業を行うことができていた。
- ・作業スピードが早く、余った時間で他の作業も手伝ってもらうことができた。

5 観光交流課

期間: 10月1日、2日、4日(3日間) 人数: 1名
実習内容: 森のハロウィーン準備



実習者の声

- ・最初は環境に慣れることが大変で、報告・連絡・相談がしっかりできなかったが、3日目にはわからないことや上手く作業できないことを伝えることができた。
- ・3日間作業を行い、最終的には目標であった「丁寧に素早く作業をする」ということを達成できた。

支援員の声

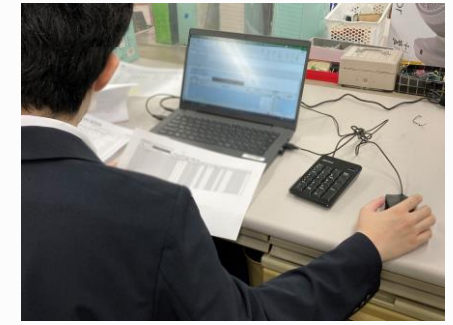
- ・細かい作業や報連相、コミュニケーションが行えていることを確認することができた。
- ・今回の実習のように、目に見える完成形がある作業は本人の達成感につながったと思う。
- ・今後は就職に向けたステップアップのための支援を進めていきたい。

受入課の声

- ・初日は指示内容と行っている作業にすれ違いがあったが、指示の仕方を具体的にしたこと、ミスなく仕事を進めてもらえるようになった。
- ・一般就労を目指すには、仕事内容の意味を考えたり仕事の効率を考えたりできるとなると良い。
- ・仕事中、お礼やお願いなどの一言が言えると仕事上のコミュニケーションももっと円滑になる。

6 資産税課

期間: 10月16日～18日(3日間) 人数: 1名
実習内容: PC入力業務



実習者の声

- ・初めての实習は疲れたが楽しかった。
- ・パソコン作業は得意分野であり、今後も仕事で携わっていきたい。
- ・事業所でも10分前行動など、時間管理については普段から心がけており、実習でも同様に行うことができた。

支援員の声

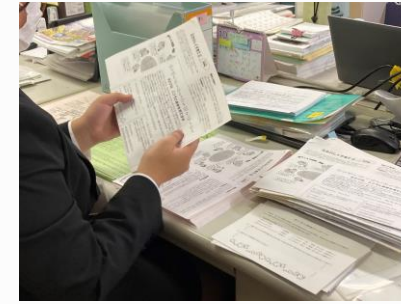
- ・実習の最初と最後の挨拶を大きな声で行えており、驚いた。普段事業所では見る事のない姿だった。
- ・社会や仕事とはどういうものかを見る、体感する良い機会になり、本人にとっても就職に向けたイメージに繋がったと思う。

受入課の声

- ・3日間で1,000件以上あるデータの5分の4程度の入力が終了し、5%程度の入力ミスしかなかった。職員が行ってももっとミスが出てしまう作業のため、とても正確な入力であった。
- ・朝も実習開始10分前に到着し、進んで準備を行うことができていた。

7 健康推進課

期間: 10月22日～23日(2日間) 人数: 1名
実習内容: 教室・検診時配布資料のセットなど



実習者の声

- ・ 慣れが生じて、工程を間違えることがないように意識して業務にあたることができた。
- ・ 事務の仕事は苦手意識があり、頭を動かすより体を動かす仕事の方が向いていることがわかった。
- ・ 長期的に働くことも考え、今後は作業と休憩のメリハリをつけることを目標にしたい。

支援員の声

- ・ 挨拶や返事ができていたほか、わからないことを自分から聞くことができていた。
- ・ まずは丁寧な作業を心掛け、慣れてきたら工夫することもできていた。
- ・ 休憩をとらず、少しでも作業を進めたいという思いが強いので、休むべき場面で休み、持続性のある働き方ができるとよい。

受入課の声

- ・ 緊張している中でも、真剣に丁寧に仕事に取り組んでいることが伝わった。
- ・ 自己評価が100%でなくても、他者からみると出来ていることもあるので、これからは得意なことを見つけながら、自信をもって仕事に臨めるとよいと思う。

8 動物園

期間:11月11日~13日(3日間) 人数:4名
実習内容:獣舎の落ち葉拾い、石拾いなど



実習者の声

- ・落ち葉拾いの作業は、作業の完成度が目で見てわかりやすく、やりがいがあった。
- ・集めた落ち葉を運ぶ際、ちりとりからこぼさないように熊手で押さえながら運ぶ工夫をした。
- ・指示されたことを確認しながら、他の実習生のやり方を見て作業をすることができた。
- ・今後は苦手な作業も積極的にチャレンジしてみたい。

支援員の声

- ・今回の実習のように作業成果がわかりやすい仕事に向いていることが分かった。
- ・仕事は色々な人と関わって行うものということを理解し、他者と協力することを覚えてほしい。
- ・普段とは異なる作業に挑戦することで、事業所と同じように作業を行うことができるかを試す良い機会となった。

受入課の声

- ・落ち葉拾いの仕事を複数の方法で取り組んでもらった。同じ仕事でも環境や状況に応じて作業の方法を考えながら行えるようになると仕事のステップアップにつながる。
- ・周りの人の仕事を見たり、真似たりして仕事ができるとよい。

9 動物園

期間:11月18日、19日、21日(3日間) 人数:1名
実習内容:PC入力作業、事務作業など



実習者の声

- ・ 仕事でパソコンを使えるようにすることを実習の目標にしていたため、今回の実習で様々なパソコン作業にチャレンジすることができ、楽しかった。
- ・ 今後の就職に向けてパソコン作業以外の事務作業もスキルアップできるようになりたい。また、事務作業以外の仕事にも興味があるので、他の実習も経験したい。

支援員の声

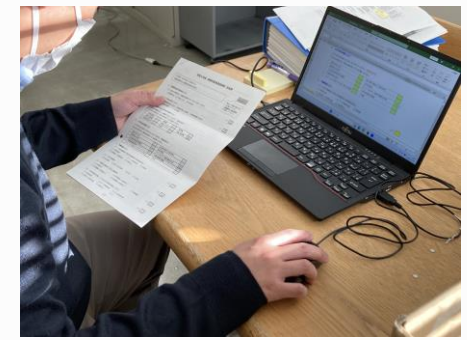
- ・ 事業所内でも真面目で黙々と作業をするタイプであり、実習という普段と異なる場所でもその能力が発揮できていた。
- ・ 今回の実習で心配であった点について、実習の担当者から改めて評価されよかった。
- ・ 今後は就労に向けてコミュニケーションの課題をフォローしていきたい。

受入課の声

- ・ Word、Excelともに一度教えたら理解でき、難なくこなしていた。今後就職した際の職種によっては、表計算を組むこともあるかもしれないので、勉強するとよいかも说不定い。
- ・ 実習期間中、事務所の中の騒がしさを体感してもらえたことはよかったと思う。就職後の職場のイメージができたと思う。

10 商業労働課

期間:11月18日(1日) 人数:1名
実習内容:雇用実態調査の回答集計作業



実習者の声

- ・説明を受け、作業内容の全体像がイメージできたため、スムーズに仕事を進めることができた。
- ・周りの職員が気にかけてくれたこともあり、環境にはすぐに慣れ、気持ちよく作業ができた。苦手なコミュニケーションも戸惑うことなくできたと思う。
- ・久しぶりのフルタイムの実習は自信につながった。

支援員の声

- ・1件あたりの作業ペースと完成したデータ件数をみると、一定のペースで作業ができていることが確認できた。指示内容が理解できれば全体像のイメージができ、作業のペース配分を考えながら仕事を行うことができるとわかった。
- ・今後の就職にあたっても、上司の指示やノルマをこなせるように感じた。

受入課の声

- ・わからない箇所があった時は自分で解決せずに、担当職員に確認ができていた。
- ・途中からは不明箇所に付箋を貼っておき、ある程度まとまってから相談に来るなど、効率的な報連相ができていた。
- ・仕事に関するコミュニケーションのほか、ちょっとした雑談も自然にできていてよかった。

11 市民活動課

期間:11月25日~27日(3日間) 人数:1名
実習内容:「平和カレンダー」丸め、テープ貼り作業



実習者の声

- ・作業中に人に話しかけられることが苦手だったので、一人で黙々とする作業は嫌ではなかった。
- ・担当者に相談することはできたが、相談内容をうまく伝えることができなかった。
- ・最初は教えてもらった通りに作業していたが、途中からやり方を自分なりに工夫し、身体に負担のないような作業にすることができた。

支援員の声

- ・遅刻せずに3日間出勤できたことや体調を崩さずに働けたことで、本人に働くための体力があることがわかった。
- ・本人の得意なことを活かせる職場を見つけることができれば、就職も可能だと思えた。
- ・日頃は支援員の声掛けで休憩しているが、本人任せでも時間の管理ができることがわかった。

受入課の声

- ・作業の不明点は担当職員に確認ができており、担当職員が不在の際にも他の職員に相談するなど、苦手と言っていた報連相ができていたように感じた。
- ・実習2日目からは、実習生の判断で小休憩をとってもらった。仕事のペース配分や水分補給などを自分の判断でできており、体調不良を起こすことなく実習を終えられてよかった。

12 資産税課

期間:12月2日、4日(2日間) 人数:1名
実習内容:封入作業



実習者の声

- ・久しぶりの仕事で不安だったが、実習を終えることができ、達成感や充実感を得られた。
- ・自分にとって心身ともに安心、安全な場所であれば働くことができるかもしれないと思った。
- ・実習を通して、働くことが好きだと実感した。この気持ちを忘れないように、就職に向けて動き出したいと思った。

支援員の声

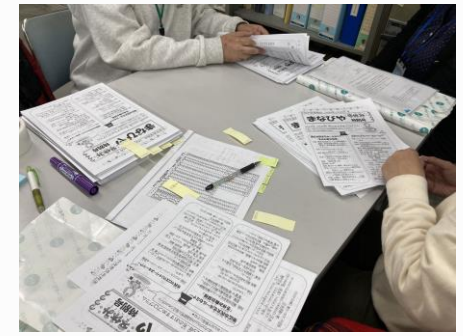
- ・ブランクもあり、不安も強かったと思うが、一步を踏み出す自信につながったと思う。
- ・作業スピードについても、客観的にみて問題なく、就職する力のある方だと思った。
- ・就職については焦ることなく、本人と話し合っていきたい。

受入課の声

- ・封入する書類が人によって異なるため、判断が多い作業だったが、内容を確認しながら間違えることなく進めてもらえた。
- ・書類の置き方などを自身で工夫しており、効率やスピード感を意識した仕事だった。
- ・仕事と休憩の配分を考え、自分のペースで仕事ができていた。

13 生涯学習文化課

期間:12月12日~13日(2日間) 人数:2名
実習内容:「まなびや」冬号の製本作業



実習者の声

- ・ 実習前は1人で行う作業の方がよいと思っていたが、人と協力して行う作業も楽しいと感じた。今後、事業所などでの作業も人と協力して作業したいと思う。
- ・ 最初は人に対する緊張があったが、2~3時間で緊張がとけた。自分から話しかけることはあまりなかったが、話しかけてもらうことでコミュニケーションをとることができた。

支援員の声

- ・ 外で働くのは初めてで心配もあったが、実習での様子を聞いて、心配は不要だったと感じた。
- ・ 現在事業所で行っている作業は1人で行う作業がメインとなっている。今後は他の利用者の方と協力して行う作業を増やしていきたい。
- ・ 他の実習も機会があれば積極的に声をかけたい。

受入課の声

- ・ 実習生同士、コミュニケーションをとりながら協力しながら作業ができていた。
- ・ 次に行う作業を考えながら、意欲的・積極的に作業を行うことができていた。
- ・ 意欲的に取り組んでいただき、作業スピードもよかった。

14 生活支援第1・2課

期間:12月17日～19日(3日間) 人数:1名
実習内容:書類整理等



実習者の声

- ・ 電話対応や委託先への訪問はとても緊張したが、この実習で経験させてもらい勉強になった。
- ・ 切手の切り取り作業を行う際、手数を減らして作業を行えるよう効率を考えた。
- ・ 支払い書類の確認作業をする際には、効率を意識しすぎてチェック項目を見落としてしまった。指示内容を意識しきれなかったことを反省。

支援員の声

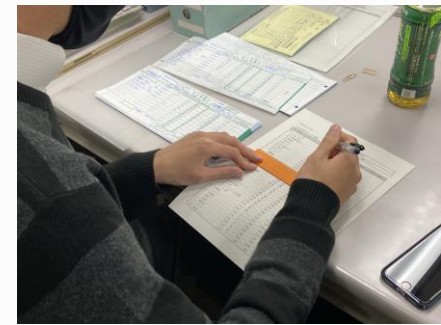
- ・ 事業所でも慎重なタイプであり、今回の実習でも良い意味で発揮できていたと思う。
- ・ 本人は緊張していると言っていたが、大勢の人の前でのあいさつもはっきりできていたので安心した。
- ・ 良い実習の評価をいただいたことを本人の今後の自信につなげてほしい。

受入課の声

- ・ 本人はコミュニケーションが苦手と話していたが、相手に不快感を与えない挨拶・コミュニケーションができていた。
- ・ 電話対応や委託先訪問を行った際に、訪問先の方からアドバイスをいただき、真摯に受けとめている姿勢に好感的であった。

15 こども課

期間:12月23日、24日(2日間) 人数:1名
実習内容:給食の食材支払い確認作業



実習者の声

- ・ 特性上、記憶保持が難しいが、初日の作業を体で覚えており、2日目も作業をスムーズに進めることができた。
- ・ 市役所は「静かでお堅い」というイメージがあったが、職員の方は和気あいあいと仕事をしており、楽しそうに見えた。そのような雰囲気の職場で働けたらいいなと思った。

支援員の声

- ・ 苦手な内容の実習にチャレンジし、やり遂げたことをまずは褒めたい。
- ・ 記憶保持は難しいようだが、同じ作業を繰り返し行うことで、その積み重ねが記憶に残りやすいことがわかった。
- ・ 細かい作業が苦手だが、普段と異なる環境で緊張感があると頑張っていたように感じた。

受入課の声

- ・ 仕事の進め方について、最初は説明した通りの方法で進めていたが、途中から自分が進めやすい方法を見つけて作業を行っていた。やり方を変える際もしっかりと相談をしてくれた。
- ・ 挨拶を自分の言葉でしっかりと話すことができていた。自分の意思を相手に伝えられることは強みになると思う。

16 企画課

期間:1月21日、22日(2日間) 人数:1名
実習内容:ファイル及びファイルボックス作成作業



実習者の声

- ・説明してもらった作業方法を自分なりにアレンジした結果、作業時間を短縮することができた。
- ・事業所では一度の説明で覚えられずに聞き直すこともあるが、今回の実習では実際に手順を見せてもらいながら説明してもらえたので理解しやすかった。
- ・細かい作業を黙々で行う仕事は、自分に向いているかもしれないと思った。

支援員の声

- ・日頃の作業では、丁寧に作業を進めすぎて仕事のスピードが遅くなってしまうこともあったが、今回は時間を意識した作業ができていた。
- ・事業所に戻ってから実習で学んだ内容をもとに、就職に向け実践に近い作業を行っていきたい。

受入課の声

- ・作業の中で分からないことがある時や困った時には、自分から質問や確認ができていた。
- ・作業内容の説明の際にもしっかりと返事ができていた。
- ・100点をつけられる仕事ぶりだった。

17 介護高齢福祉課

期間:12月27日(1日) 人数:1名
実習内容:書類整理、決裁版作成など



実習者の声

- ・ 効率を意識し、物の配置や作業順番など無駄のない動きを心掛けながら、丁寧な仕事ができるようになった。
- ・ 作業途中で疑問や不安が生じたときは、自己判断せずに確認を行うことができた。
- ・ 今回の実習で初めて事務作業を行い、興味がわいた。自分の興味のあることを仕事にできるよう、事業所に戻って考えていきたい。

支援員の声

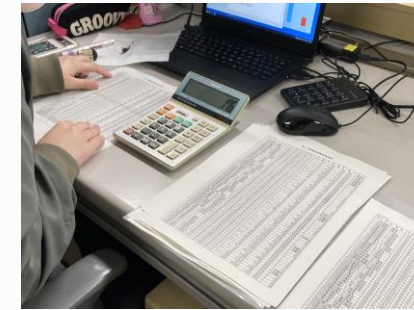
- ・ 事業所でも挨拶や返事がよく出来ている点において、支援員からの評価が高い。事業所外でも挨拶の部分で高評価をいただいたことは嬉しく、本人の自信に繋がると思う。
- ・ 実習を経験したことで、本人のやりたいことが明確になってきているように感じる。今後は本人の希望に合わせて他の実習などにも参加し、希望する就職ができるよう支援していきたい。

受入課の声

- ・ 自席での単純作業をお願いしたが、集中して丁寧に取り組んでいただいた。
- ・ 説明への理解も早く、「わかった」「わからない」の意思表示もしっかりできていた。
- ・ 特に、挨拶や返事を大きな声でできており、素晴らしかった。

18 下水道課

期間:1月28日~30日(3日間) 人数:1名
実習内容:PC入力作業、ファイル作成作業



実習者の声

- ・ パソコンを使った作業は初めてだったが、楽しく行うことができ、自分に向いていると思った。
- ・ わからない箇所を確認・相談しに行く際、「どこがわからないのか」を明確にしてから聞きに行くように心がけた。
- ・ 3日間の実習は物足りなく感じた。今後、フルタイムで5日間働けるのではと思った。

支援員の声

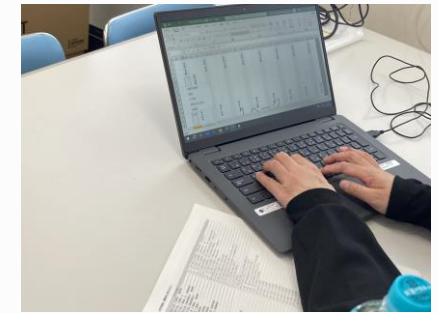
- ・ 実習を通し、本人が就職に対し前向きな気持ちを持てたことが一番の収穫だった。
- ・ 事業所でもパソコンを使った仕事があるため、今後事業所での作業にも取り入れたいと思う。若い利用者も多いため、ニーズも高いかもしれない。

受入課の声

- ・ 計算とパソコン入力を組み合わせた作業を行ってもらったが、とても丁寧な仕事ぶりだった。パソコンへの入力作業も正確にできており、99%の割合で間違いがなかった。
- ・ 言葉遣いに不安があると本人は心配していたが、気になるようなことは全くなく、仕事に対して丁寧に真剣に取り組んでいただき、とても嬉しかった。

19 国保課

期間:2月17日、18日(2日間) 人数:1名
実習内容:PC入力、ファイル作成、文書整理など



実習者の声

- ・ひとりで黙々とする作業が楽しく、自分に向いていると思った。
- ・人とコミュニケーションをとる仕事にも興味があるので、今後どのような仕事につくか事業所に戻って考えていきたい。
- ・緊張すると話せなくなってしまうので、積極的にコミュニケーションをとれるようにしたい。

支援員の声

- ・緊張から不安感が強くなる傾向があるが、実習を終えて充実感や達成感が見てとれた。
- ・周りを引っ張っていける力のある方なので、経験を積んでどんな場面でも力を発揮できるようになってほしい。

受入課の声

- ・パソコンの作業は予定より早く終わった。同じ作業を淡々と進めていくことが得意と感じた。
- ・ひとつひとつ丁寧に一定のペースを保って作業を行っていた。
- ・議事録の文字おこし作業は苦勞しているように見えた。会議は話し言葉なので、聞き取りにくいうえに会話の内容を記憶しながら打ち込むため、難しい作業だったと思う。